## デブリ円盤と惑星形成

#### 名古屋大学 小林 浩

内容 惑星形成と円盤進化 デブリ円盤ガス デブリ円盤ダスト まとめ

# 惑星形成と円盤進化

#### 円盤進化

田麹

太陽系形成史





小惑星形成

105-6年



水星・火星形成

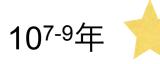
106-7年



木星・土星形成

天王星・海王星形成

109年









外惑星形成

ガス集積

微惑星形成

固体核形成









小惑星体の進化

完成

田麹

#### 原始惑星系円盤進化

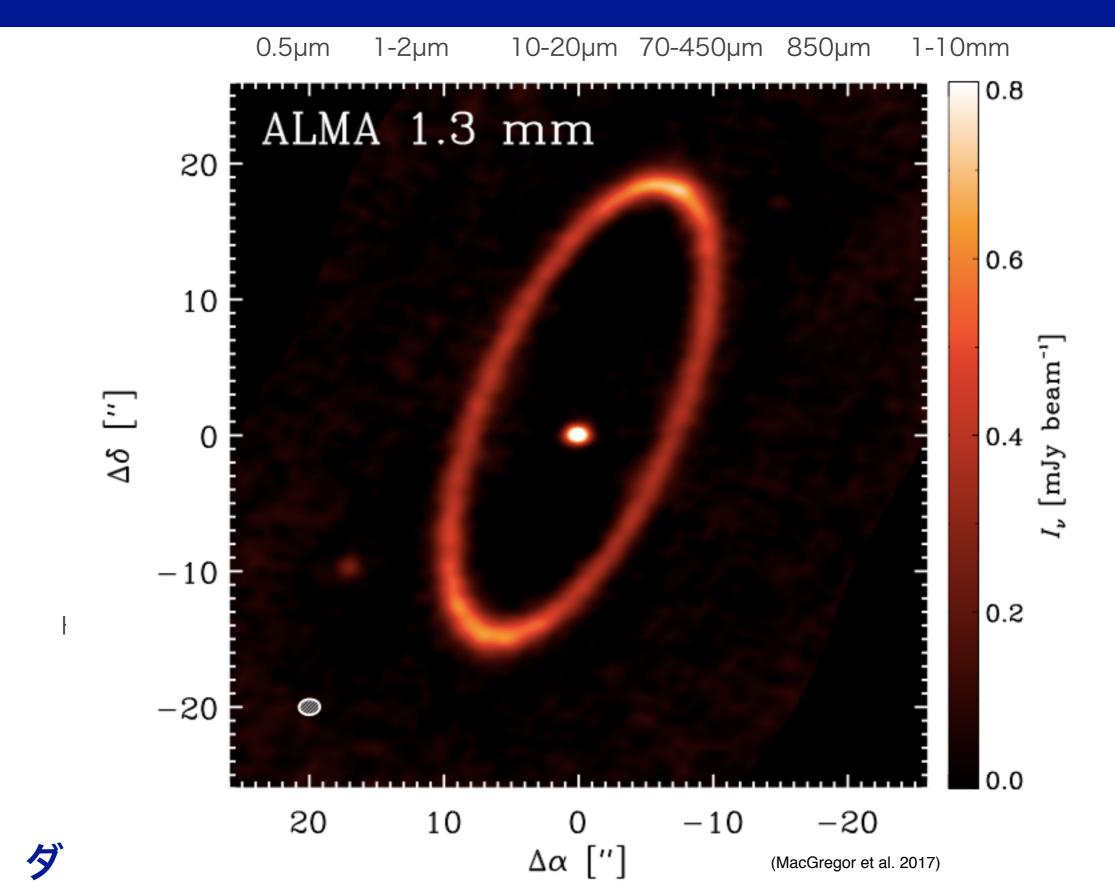
- 円盤散逸: MRI起源の円盤風(鈴木トーク)、光蒸発(仲谷トーク)
- 散逸円盤の長期進化(國友トーク)
- 巨大ガス惑星形成⇒円盤質量が数倍の木星型質量以上(Tanigawa & Ikoma 2008):遷移円盤
- 地球-月系形成の巨大衝突ステージ⇒数倍の地球 質量以下(Iwasaki et al. 2000):デブリ円盤

## デブリ円盤ギャラリー

70-450µm 1-10mm  $0.5 \mu m$ 1-2µm 10-20µm 850µm  $\varepsilon$  Eri (3pc) Fomalhaut (8pc) Vega (8pc) **AU Mic** (10pc) HD 207129 (16pc)  $\beta$  Pic (19pc)

ダスト円盤からの熱輻射が様々な波長で観測されている

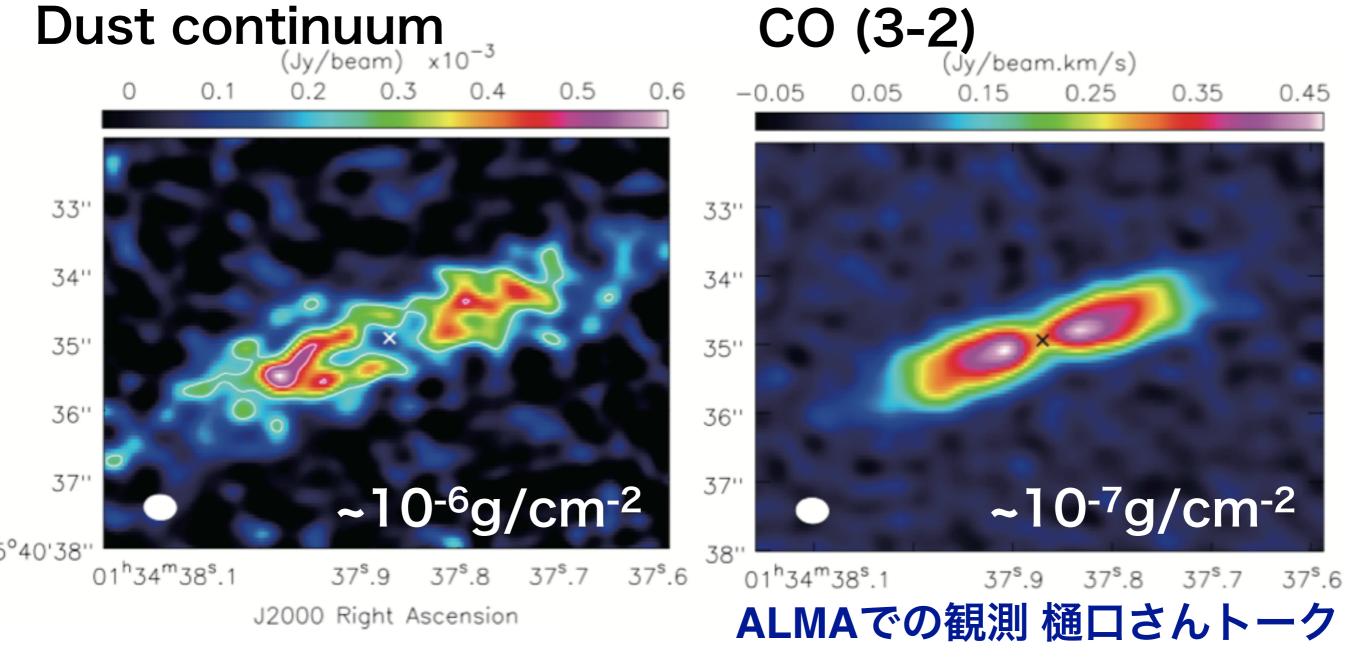
## デブリ円盤ギャラリー



http://w.astro.berkeley.edu/~kalas/disksite/pages/gallery.html

## デブリ円盤のガス

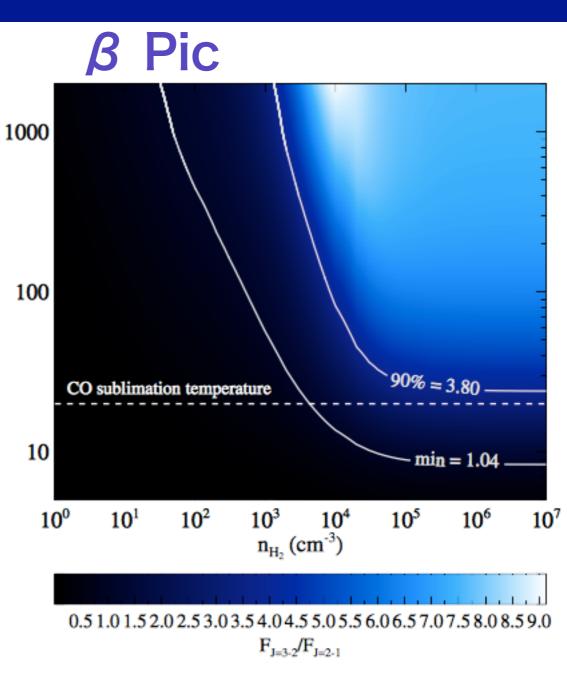
49 Ceti



原始惑星系円盤の生き残り?固体からの脱ガス?

#### デブリ円盤でのCO量

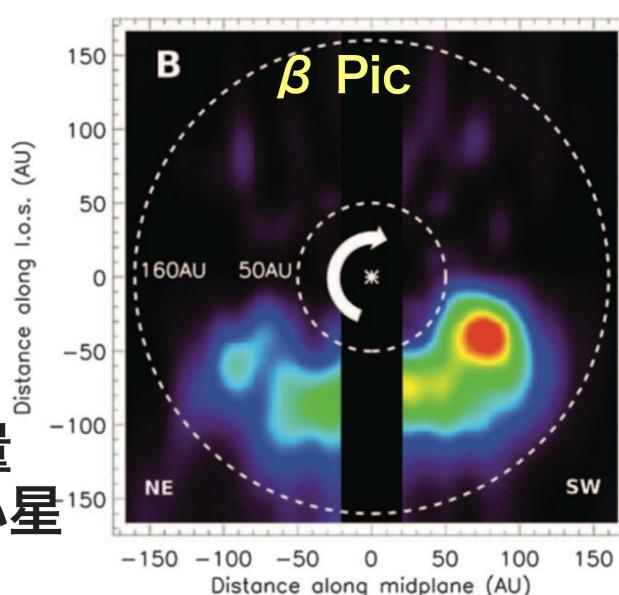
- COのUVによる解離時間 (~100年) << 中心星年齢</li>
- ・観測されているCOは生成。 されなくてはならない
- ・化学反応による再生成
  - 水素が必要
- ・固体から脱ガス
  - ~100AUで可能か?



(Matra et al. 2017)

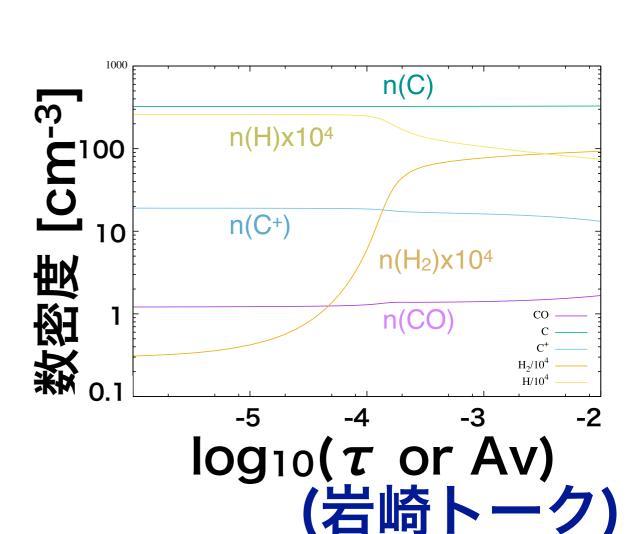
#### 衝突脱ガス?

- β Picはedge-on円盤速度分布から空間分布へ (Dent et al. 2014)非軸対象円盤
- 脱ガスは可能?
- T~100K昇華は難しい
- 衝突脱ガス?
- 気体COを空隙に 保持(Metra+2017)?
- 彗星のCO/CO2の含有量 <sup>100</sup> (大坪トーク)、その中心星<sup>150</sup> 距離依存性(小林トーク)



#### 残留ガス?

- 残留ガスならば円盤進化に制限がつけられる
- 光蒸発により薄い円盤は散逸しないか?
- CO/H2はどの程度なのか?
  - PDR計算により導出
  - n(C)/n(CO)がn<sub>H</sub>を 示す。



## デブリ円盤のダスト

- ガスなしデブリ円盤では、ダスト寿命 << 星年齢</li>
  - 衝突破壊により生成された ダスト
  - ガスの影響?
- ・原始惑星系円盤のダスト特 性と違うのか?

田崎トーク





## デブリ円盤のダスト

- ガスなしデブリ円盤では、ダスト寿命 << 星年齢</li>
  - 衝突破壊により生成された ダスト
  - ガスの影響?
- ・原始惑星系円盤のダスト特 性と違うのか?

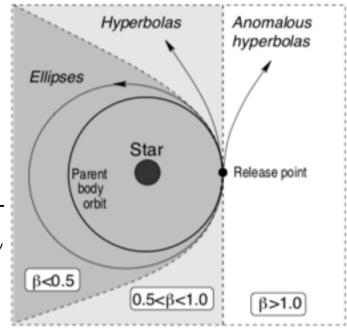
田崎トーク

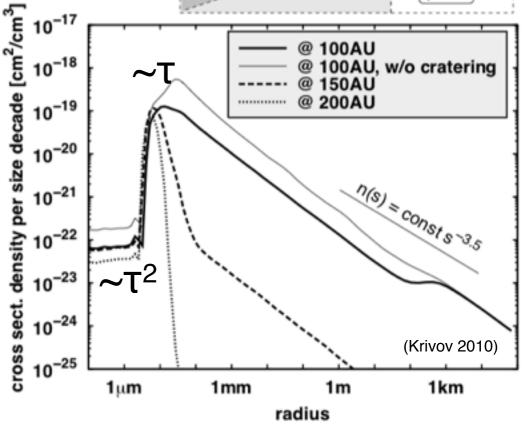




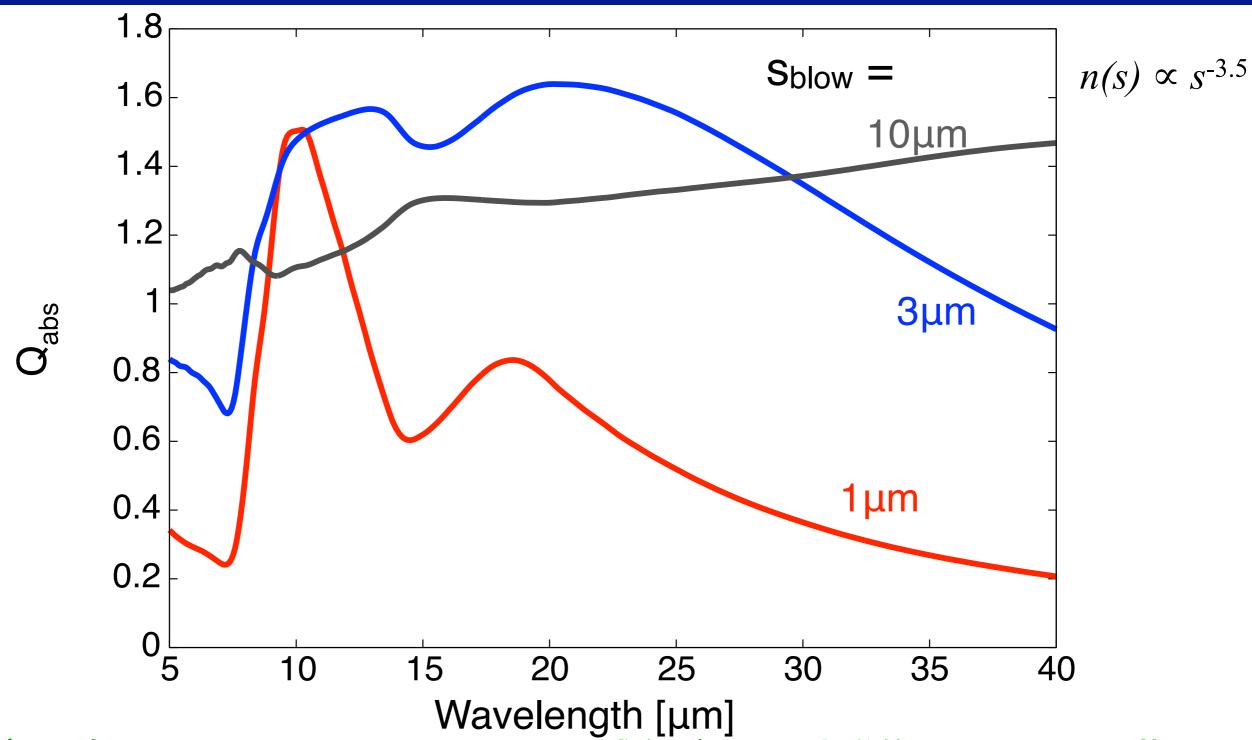
#### ガスなし:衝突カスケード

- 輻射圧除去: r<sub>b</sub> ≲ 10 (L\*/10L<sub>●</sub>) (M\*/M<sub>●</sub>)-1μm
  - $r \gtrsim r_b$ ,  $n(r) \propto s^{-3.5}$ ,  $\tau \sim \tau$  disk
  - r  $\lesssim$  rb,  $\tau$  ~  $\tau$  disk<sup>2</sup>  $\beta = \frac{L_* \bar{C}_{\mathrm{pr}}}{4\pi cGM}$
- 小さいダストを作るには:
  - ・ガス抵抗
  - 生成量をあげる (τ≥10<sup>-3</sup>)





#### Silicate Feature



デブリ円盤のシリケートフィーチャーは、残留ガスか、光学的に厚いのか?(藤原、石原)

#### まとめ

- デブリ円盤のガスは原始惑星系円盤と太陽系、 系外惑星系を結ぶ鍵となる
- 巨大衝突や外惑星形成のような後期惑星形成論 の検証
- 原始惑星系円盤の散逸、彗星からの脱ガスからの知見が必要

• ALMAで取り組むべき課題